

品質による信頼性の向上・お客様への貢献

新光電気グループは、品質によりお客様と社会の信頼を支えることを企業としての指針としています。当社グループでは、ものづくりにおいて業界一、世界一の品質を目指し、お客様の期待に応える優れた製品の開発・製造に注力してまいりました。私たちは、発想と行動の原点を常にお客様に置き、お客様の成功に貢献し、ともに成長し、世界中のお客様から信頼されるビジネスパートナーとなることを目指しています。

品質でお客様と社会の信頼を支える

新光電気グループはデジタル社会の基盤を支える製品を供給しており、安定した品質の確保は重要な責務であると認識しています。また、品質・信頼性に対する社会的要請の高まりを背景に、より高度で透明性の高い品質管理体制の構築が求められています。お客様に長く信頼いただける企業になるためには、品質および品質管理体制の維持・向上が不可欠です。

このような認識のもと、新光電気グループは、品質を事業活動の根幹に関わる事項と位置づけ、その維持・向上に日々取り組むことで、お客様や社会から信頼され、選ばれ続ける企業を目指しています。

品質方針

私たちは「品質方針」に基づき、価値の高い製品とサービスで、お客様と社会から信頼される企業であり続けます。

品質方針

新光電気グループは、品質でお客様と社会の信頼を支え、お客様が期待するレベルの製品とサービスを誠実に提供する企業であり続けます。
これを達成するため、全社員が次の指針で行動します。

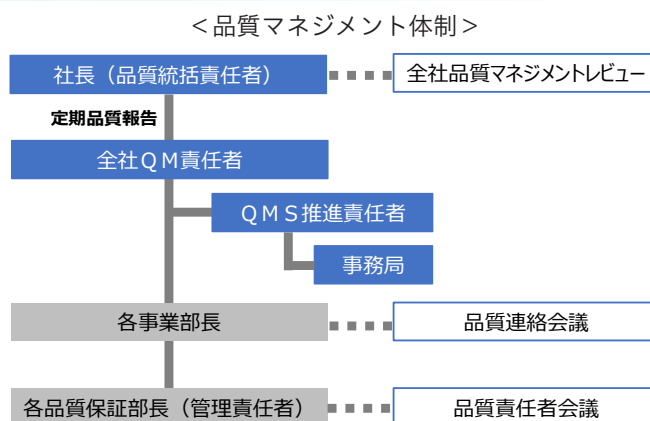
【行動指針】

1. お客様第一優先に徹した品質追求
2. 変化を先取りした品質づくり
3. 社会的責任を果たす品質の確保
4. 五ゲン主義（現場、現物、現実、原理、原則）による継続的な品質改善
5. 品質を考える人づくり

新光電気工業株式会社
代表取締役社長

品質マネジメント体制

代表取締役社長が品質統括責任者を務める品質マネジメント体制のもと、内部品質監査および全社品質マネジメントレビューを年2回行い、マネジメントシステムがISO/IATF規格要求事項に適合しているか、マネジメントシステムが有効に機能しているか確認し、品質方針に沿って継続的な品質改善に取り組み、品質問題の未然防止に努めています。



品質マインドの醸成

全社員の品質コンプライアンスに対するマインドの醸成と定着を目的とし、毎年11月の『品質月間（日本科学技術連盟・日本規格協会・日本生産性本部などが主催）』にあわせ、『品質コンプライアンス教育』を実施しています。

さらに、2024年から『品質マインド定着教育』を実施し、品質マインドの浸透、定着をはかっています。この教育は、短時間で受講できる当社独自の動画教材を全社員が年に数回繰り返し受講することで、自らの行動を見つめ直し、心に問う機会としています。

こうした施策を通じて、当社では、お客様に提出するデータも製品・サービスの一部として品質重視の視点に立ち、ものづくりに携わる社員が一丸となって品質コンプライアンス問題に向き合うための取り組みを継続的に進めています。

2025年度 品質コンプライアンスに関する教育実績 [新光電気グループ（国内）]

研修名	受講者数
品質コンプライアンス教育	5,344人
品質マインド定着教育（年3回実施）	延べ 15,760人

今後も社内教育を通じて、お客様から信頼されている重みを全社員に再確認する機会を持ち、当社の大切な製品とサービスを安心・安全・誠実に届け続けていけるように取り組んでまいります。

品質マネジメントシステム認証取得

新光電気グループは、当社グループの製品をお客様が安心して採用いただけるよう、品質マネジメントシステムの認証取得に積極的に取り組んでいます。品質マネジメントシステムの国際規格であるISO 9001については海外を含むすべての製造拠点で認証を取得しています。また近年、市場のニーズ拡大が期待される車載製品に対しては、自動車産業向けの品質マネジメントシステム国際規格であるIATF 16949の認証取得品種の拡大を進めています。

品質マネジメントシステム認証取得状況

展示会への出展

当社は、お客様に当社の高い技術力を知っていただくとともに、より社会に価値を提供できる製品を開発するために、お客様や市場のニーズを把握すべく、展示会に継続的に出展しています。2025年度は、開発中の製品を中心に、以下の展示会への出展を実施しました。

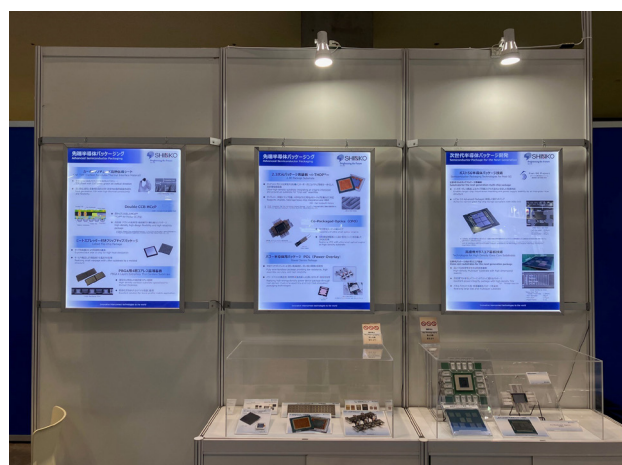
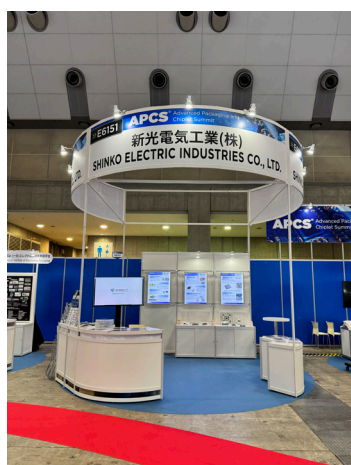
No.	日時	展示会名	出展製品
①	2025年4月15日 ～4月19日	ICEP-IAAC 2025 (2025 International Conference on Electronics Packaging joined with iMAPS All Asia Conference)	2.3次元パッケージ用基板(i-THOP®※) パワー半導体用パッケージ(POL) 光電融合パッケージ ガラスコア基板
②	2025年12月17日 ～12月19日	APCS (Advanced Packaging and Chiplet Summit) 2025	2.3次元パッケージ用基板(i-THOP®) パワー半導体用パッケージ(POL) 光電融合パッケージ ガラスコア基板 カーボンナノチューブ高熱伝導シート 他

※ i-THOPは当社の登録商標です。

(注) いずれも開発中の製品

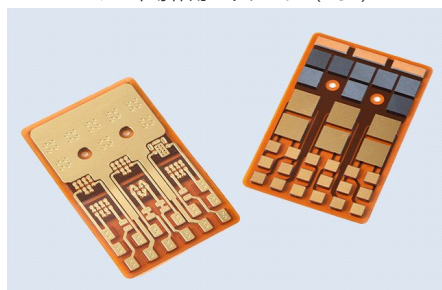
【展示会出展の様子】

APCS2025

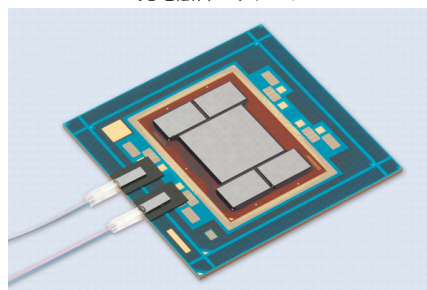


【出展製品の紹介（一部）】

パワー半導体用パッケージ (POL)



光電融合パッケージ



高効率な電力変換を実現できるパワー半導体用パッケージ (POL) は、電気自動車などへの利用が見込まれます。また、低消費電力な高速通信を実現する光電融合パッケージは、データセンターで利用される通信機器やサーバー等への利用が期待できます。

製品を通じた社会課題解決への貢献

生成AIの普及やデジタル化の進展に伴い、データ処理能力の向上と消費電力削減の両立が重要な社会課題となっています。

新光電気グループの主力製品である半導体パッケージは、小型化・高密度化・高放熱化を実現することで、データセンターやAIサーバー向けの高性能半導体の実装を支え、高性能化や省電力化に貢献しています。

また、新光電気グループは、光電融合の実現に向け、半導体パッケージ用基板技術やIC組立技術などのコアテクノロジーを活かした開発を進めています。光電融合技術は、高速・大容量のデータ伝送と低消費電力化を両立する次世代技術であり、情報通信インフラの高度化や省エネルギー化への貢献が期待されています。

私たちは、これらの製品・技術を通じて、豊かで持続可能な社会の実現に寄与してまいります。

お客様への対応

当社ではお客様のニーズやビジネス環境の変化に応じ、対面とデジタルを組み合わせた最適なコミュニケーションを通じて、迅速かつ的確な対応に努めています。

また、グローバルでのサプライチェーンの変動や自然災害などのリスクをふまえ、BCM（Business Continuity Management）の強化を継続し、安定供給の確保とお客様への責任ある対応に取り組んでいます。

今後も、お客様に信頼いただける対応の実現に努めてまいります。

安全と信頼への取り組み

安全保障輸出管理について

当社は、安全保障貿易管理関係法令を遵守し、違反を未然に防ぐための内部規程「安全保障輸出管理規程」を制定し、適切な安全保障輸出管理を実施しています。また、新入社員や新任管理職、輸出製品に携わる社員への定期的な教育を通じ、法令遵守の意識を高めています。

なお、海外製造子会社も管理対象としており、同様の教育を実施しています。

AEO事業者認定

AEO（Authorized Economic Operator）制度とは各国税関が連携した世界の枠組みです。この制度の認定を取得することにより、輸出品を扱う企業としての信頼性向上と迅速な通関手続きが可能となっています。

当社は、AEO事業者として2008年に認定を取得しています。